

九州沖縄農業試験研究推進会議 成果情報 作成要領

令和2年11月17日版

1. 記載方法

<様式>

- ・農研機構の研究者は MS-Word を使用。
- ・1 課題あたり A4 版縦置き 3 頁以内。
- ・左右・上下余白 2.5cm、文字数 45、行数 45 は変更不可。
- ・MS-Word の段落の設定は、配置「左揃え」、インデント左右とも「0 字」。
- ・文字の大きさは 10.5 ポイント、英数字は半角（成果の内容等の項目番号は全角）
- ・括弧「()」は全角、全角句読点「、」「。」を使う。
- ・使用不可；半角カナ文字、機種依存文字（丸囲み数字、ローマ数字、臍、罌など）および外字。
- ・本文中改行する場所以外では、改行コードを挿入しない。
- ・本文中体裁を整える必要がある場合には、インデントの設定により行う。（段落中にスペース・タブ・改行を入れない。）

<記載>

- ・一般（他分野）の人にも理解できるような平易な文章で記述。原則として、現在形で記述。
- ・年は西暦で記載する。
- ・品種名は「」書き。品種の特性は“○○”です。例：「○○」の△△病抵抗性は“やや強”である。
- ・微生物・ウイルス等の学名は初出時に属名を略さずに記載する。一般的な動植物等の学名は記載不要。
- ・マニュアルや論文等の URL を記載する場合、URL に誤りがなければ確認する。
- ・以前の成果情報を記載する場合には、年度、普及／研究の種別を入れる（20XX 年度○○成果情報「成果情報名」）。
- ・罫線は使用不可。
- ・代表連絡先：

各 県：状況に応じて電話番号を記載、メールアドレス、FAX 番号の追記も可。

農研機構：PLの電話番号を記載。必要に応じて、主担当者が所属する研究センター・部門の窓口となる部署の電話番号に変更可。九沖農研の電話番号を記載する場合、研究推進室広報チーム（096-242-7530）を記載。

3. 普及成果情報の記載内容

成果のユーザーが普及成果情報を見た際に、成果の「普及性」、「有効性」が明確に分かるよう具体的に示す。

普及性については、[普及のための参考情報]に、普及予定面積・普及台数・普及割合等の具体的な数値を示し、有効性については[成果の内容・特徴]等に、従来技術に比べ、生産コストを○%削減できる、収量が○%増加する、○時間/10a・年の労働時間を削減できる、収益計算等の具体的な記載を心がける。

4. ファイル名

【各県提出】

推進部会コードNo. (半角)_県名 : ○○○○○(普 or 研). 拡張子

(例) 1_福岡 : 水稲新品種「元気つくし」(普). doc

1_福岡 : イチゴ超多収技術(研). doc

推進部会コード No.

水田作 1 畑作 2 畜産・草地 3 果樹 4 野菜・花き 5

茶業 6 病害虫 7 生産環境 8 フードシステム 9

【農研機構提出】

推進部会コードNo. (半角)_九沖 : 中課題番号_通し番号_分類_作成年月日. 拡張子

(例) 2_九沖 : 10101_01_普及_yymmdd. docx

2_九沖 : 10101_02_普及_yymmdd. docx

4_九沖 : 10103_01_研究_yymmdd. docx

4_九沖 : 10103_01_過年_yymmdd. docx

注) 通し番号は中課題番号及び分類ごとにつける